

横山古墳(山鹿市)

横山古墳/6世紀後半頃築造の前方後円墳/鹿本郡植木町大字有泉字横山にあった古墳をここに移築/右手前が後円部、左奥が前方部

[video](#)

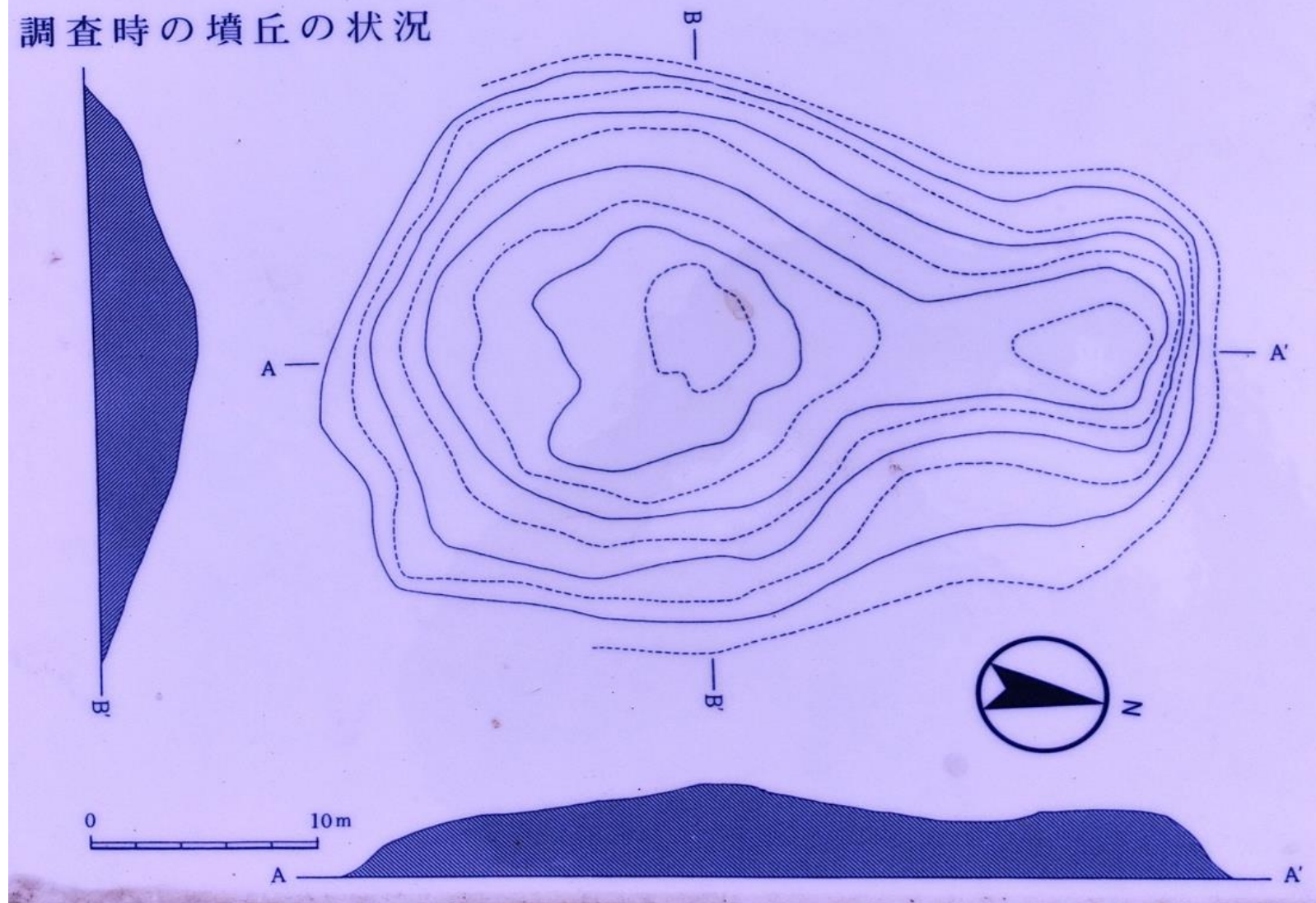


説明板/全長39.5m、前方部の幅19m、高さ3m、後円部の直径29m、高さ5m、小型の前方後円墳



後円部に横穴式石室があり、奥に設けられた石屋形の袖石等に装飾文様がある/須恵器、鉄製品、装身具(玉類)等、数百点以上が出土した

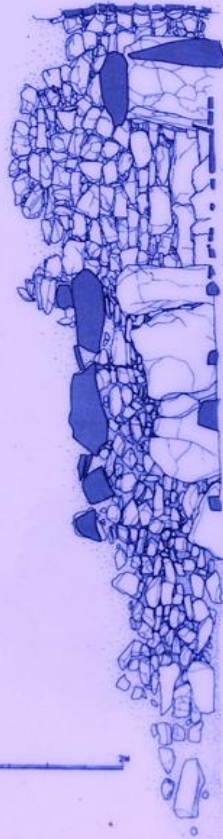
調査時の墳丘の状況



石室実測図



(左側壁)



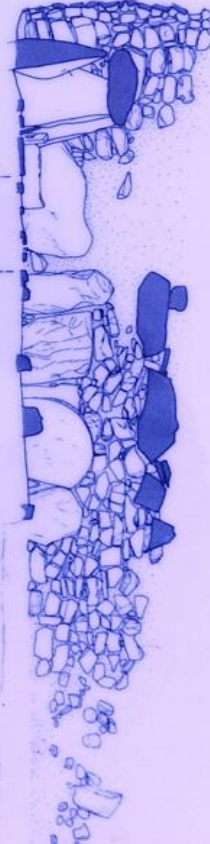
(平面図)



(正面奥壁)



(右側壁)



屍床

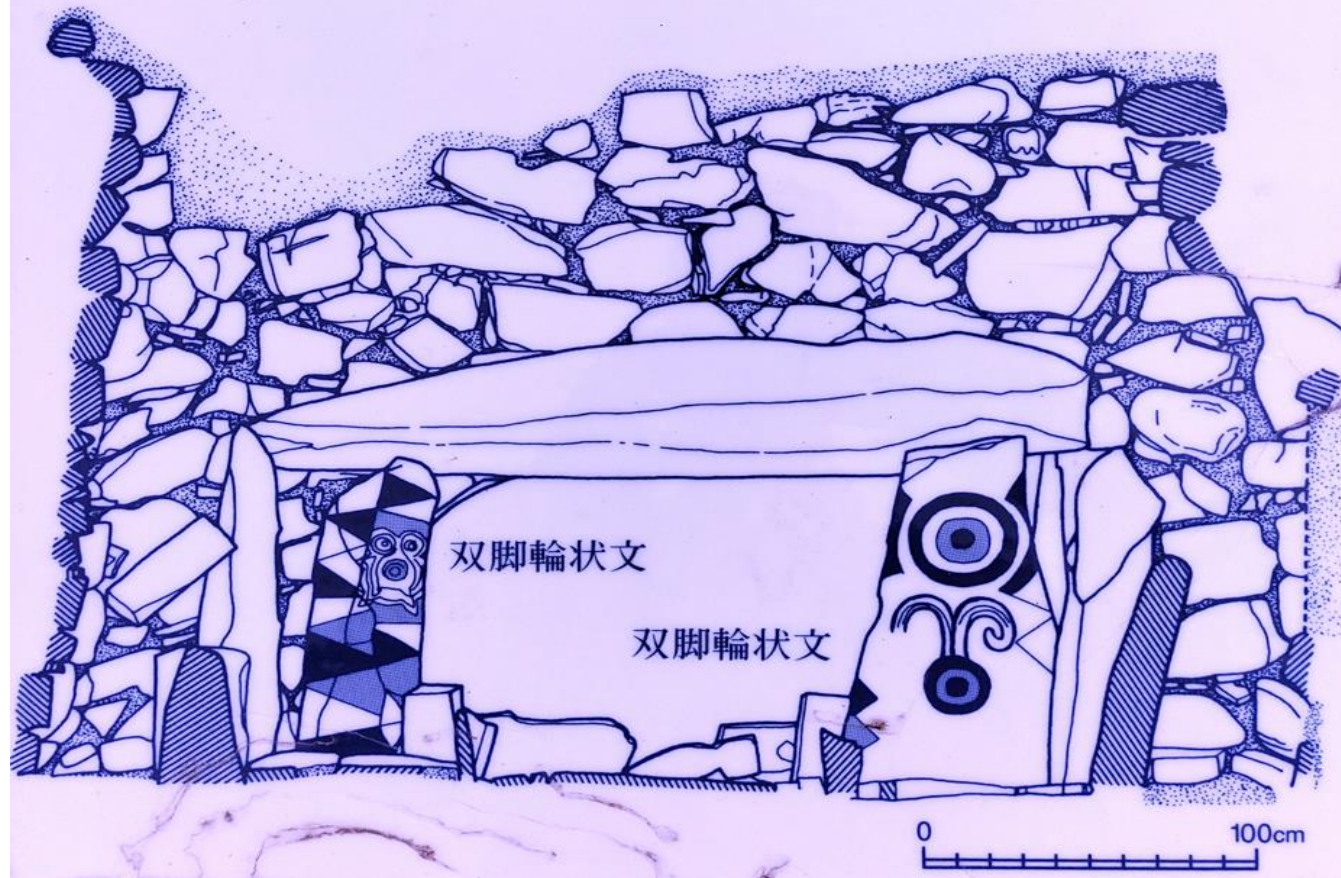
石屋形

玄室

屍床

羨道
(通路)

裝飾文様 (石屋形袖石)



これは熊本県立装飾古墳館に展示されていた、横山古墳の石屋形の袖石等の装飾文様(双脚輪状文)

横山古墳

三角文



双脚輪状文



同心円文



蕨手文
(双脚輪状文)

使用された顔料

(赤 (ペンガラ)
白 (白土)
灰 (青灰色粘土)

右下の赤印の場所から左上の赤印の場所へ移転復元したもの



横穴式石室の入口/施錠されていた



後円部を後ろから見たところ

 video



右手に回って、後円部(左手)～前方部(右手)を見たところ

 [video](#)



